



学校だより

伸びゆく子

令和5年4月28日
横浜市立中沢小学校
5月号

安心して表現できる関係づくり

学校長 川又 美貴子

先日は、授業参観・懇談会・学校説明会にご参加いただき、ありがとうございました。今回、1年生以外は午後のまとまった時間に開催できたため、参観後の説明会・懇談会にも、たくさんご参加いただくことができました。一方で、「感染症対策で時間帯を分けて参観していた時の方が教室内の人数が少なく、見やすかった。」というお声も伺いました。改めて感染症対策としての工夫にも、今までとは違うよさがあったのだと感じています。今後の様々な教育活動において、よりよい在り方を模索していきたいと思えます。

さて先日、外国語の授業で、自己紹介の学習をしている場面を見ました。中沢小学校では、昨年度から1、2年生は担任が、3～6年生の外国語活動、外国語の授業は英語専科の教員が担当しています。AET (Asistant English Teacher)、IUI (International Understanding Instructor) だけでなく、5、6年生には旭中学校の英語教員も週一日ずつ来校して専科教員と共に授業を行っています。

こうした恵まれた環境で1年生の時から英語でのコミュニケーションに慣れ親しんできているのですが、やはり4月当初の授業では、皆緊張していて声が小さかったり、表現も抑え気味になったりしている様子です。担当教員の感触では、クラスの友達となじんできて関係性ができてくると、自然と英語での表現も大きく、豊かになってくる傾向があるそうです。その話を聞いて、英語が話せる、話せない、ということはもちろんですが、のびのびとした豊かな表現の土壌となるのは安心して話せる関係性なのだ改めて感じました。

英語でも、その他の場面でも、お互いのことを知り、認め合うことで、自分らしく安心して表現できるように、仲間づくりを大切に5月にできればと思います。ゴールデンウィークを挟んで緊張の疲れも出てくる頃かと思いますが、ご家庭でも温かく見守り、励ましていただければと思います。

学援隊のメンバーを募集しています。

登校時の子どもたちの安全を、地域の方々が学援隊として見守ってくださっています。保護者の旗振り当番だけでは難しいところを、地域の皆様のご厚意で助けていただき、本当にありがとうございます。

一方で、長年見守ってくださった方々の中には継続が難しく、引退される方も増えており、これまで通りの見守りができなくなってきている個所もあります。もし少しでもお手伝いいただける方がいらっしゃいましたらご協力をお願いします。ご協力いただける方は副校長 正木までご連絡ください。